

教材名（活動名） 「クッキングはじめの一步」 及び 給食時「お茶クイズ」	学 校 名	沼津市立原小学校
	学年・人数	5年 99人
	教 科 等	家庭科
実施時期 5月中旬から下旬	授 業 場 所	家庭科室及び教室
	連 携 機 関	なし

ねらい

- ・お茶を淹れる作業を通して、調理室や調理器具の使い方など安全管理を身に付けるとともに、日本茶の道具や淹れ方を知り、緑茶に対する関心をもつ。
- ・家庭科の学習で緑茶を飲むことに関心をもった子どもたちが、お茶クイズを通して、お茶に関して更に興味をもつ。

学習（活動）内容

1 家庭科の学習

- (1) 調理室の使い方を確認しよう。
- (2) お茶を淹れよう。
 - ・必要な道具は何だろう。
 - ・湯を沸かす時の注意点を確認しよう。
 - ・緑茶を淹れる時のポイントは何だろう。
お湯の温度の確認→お茶道具「湯冷まし」も紹介する。
- (3) 調理実習
 - ・各班でお湯をわかし、茶を淹れる。
- (4) 今日の感想、分かったことをまとめよう。

2 給食時の指導

(1) お茶クイズをしよう

クイズ① お茶の枝はどれでしょう？ また、それぞれ何の枝でしょう。

ア 食品に関係のある3種類（サクラ、ツバキ、チャ）の枝を見せる。

・（ツバキの枝を）チャだと思ふ。・（チャの枝を）ミカンだよ

A ツバキ…茶とツバキは同じツバキ科。椿餅で葉を使用。

サクラ…（この学校の桜とは品種が違うが）桜餅で塩漬け葉を使用。さくらんぼ。

クイズ② 麦茶、緑茶、紅茶、ウーロン茶。それぞれ何から作られているのでしょうか？

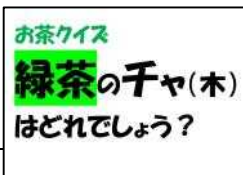
・去年、聞いたから知っている。・麦茶はなんだろう。・紅茶はお花かな。

A 麦茶は大麦。緑茶も紅茶もウーロン茶も「チャ」の葉から作る。製法の違い。

クイズ③ お茶畑の地図記号はどんなマークでしょう？

・「Y」みたいだったと思う。・忘れちゃった。・たしか「点々が3つ」？

A. 『∴』 茶の実がモチーフ…茶の実の写真を紹介



(2) (家庭科の授業後に受けた) 質問への回答タイム。

質問① お茶を入れるお湯の熱さは？

質問② 茶セット(茶櫃)の中の灰皿のようなものは何？

3 子どもの振り返り

お茶について

16

わたしは、お茶の入れ方など、わたしが分からなかったとよく分かりました。これから家でも作りたいと思います。ツバキは緑茶と違い、お湯の温度が不思議だと思います。どういっているのか調べてみたいと思います。これからお茶のいろいろなこともなりたいようにしていきたいです。わたしは、紅茶の人のことがないので、調べてみたいですね。

お茶について??

21

わたしはお茶を淹れにもきにしていながら、たけと家庭科のパンきゅうでお茶をきにするよくなりました。だからこれからは家族の人たちにお茶はいいと聞いて、みんなと一緒にお茶をいれてあげたいと思います。緑茶はツバキと同じ仲間だということも分かりました。

お茶について

30

わたしは初めてお茶を淹れてきて、ウーロン茶や紅茶などは茶葉を淹れていることと、本当はお茶の木はとも大きくて、わたしから見たお茶の木は、お茶を取れやすくするために小さくして、お湯を大きくということも初めて知りました。わたしはお茶のことをたくさん知れたので、これからお母さんにお茶を入れてあげたいです。

お茶について

19

ぼくは自然とよく見かける茶畑の形になると思っていたけど、それは茶葉をとりやすくして、なにもしないとどんどん大きくなることになりました。地図記号はお茶の実の形だと分かりました。緑茶とツバキがしんせきだということも分かりました。高級なお茶は60まで下げていると分かった。家で自分で緑茶を入れたことがないので、しかり約80まで下げて家族にお茶を注ぎたいです。

4 給食献立

5/19(火)

「ぬまづちゃめし」

沼津産のせん茶で炊き、
粉茶をまぜたごはん。

5 掲示



成果

- ・緑茶に関して関心が高まった。

留意点

家庭科のお茶を淹れる授業の後で、給食時間にお茶クイズを実施し、興味を高めた。その後、お茶に関する掲示をし、興味の継続を図るようにした。

教材名（活動名） はじめてみよう クッキング ～お茶はかせに なろう～	学 校 名	小山町立足柄小学校
	学年・人数	5年生 11人
	教 科 等	家庭科
実施時期 平成27年5月27日（水）	授 業 場 所	家庭科室
	連 携 機 関	なし

ねらい

- ・お茶のおいしい淹れ方を理解し、お茶を淹れることができる。
- ・本時で学んだことを家庭生活に活用しようとする実践的な態度を育てることができる。

学習（活動）内容

- お茶への関心を高める。
 - ・「お寿司を食べるとき、お茶を飲むのはなぜか」クイズを出す。
- お茶のルーツや種類について知る。
 - 今飲んでいるお茶は、もともと中国から伝わってきたこと、緑茶・ウーロン茶・紅茶の原料は同じお茶からできていることを伝える。
 - 緑茶の種類（品種・作られた場所・収穫の時期）はたくさんあることを伝える。
- お茶の栄養について知る。（栄養教諭）
 - お茶に含まれる栄養成分（カテキン・カフェイン・ビタミンC・テアニン）について伝える。
 - 飲むだけでなく、料理に使うことでも栄養をとることができることを伝える。
- お茶のおいしい淹れ方を学ぶ。（栄養教諭）
 - 温度の違いで味が変わることを試飲を通して学ぶ。
 冷ましたお湯で入れたお茶
 （ポットから湯飲み→湯飲みから急須にお湯を注ぐ）
 熱いお湯で入れたお茶
 （ポットから急須にお湯を注ぐ）
 ＊一人2個 湯飲み茶碗を準備する。
 - 班ごとに、お茶を淹れて飲む。
 ＊11人の児童を3つの班に分けて、実際にお茶を淹れる活動を行う。




5 振り返りをする。

- (1) 本時の学習でわかったことを、振り返りカードに記入する。
- (2) 本時で学んだことを、家庭でも実践するように伝える。



お茶はかせになろう 授業の感想を書いてください。


ぼくは、いつもお客さんが来た時に、お茶を出したりするけれど、お茶に人々に色々な力があるなんて知りませんでした。きっと、お茶の力の中に、「リラックスさせる力」とあって、ぼくは、お客さんに、くつろいでほしいという思いで出しているのかなと思いました。ごはんのあとにお茶を飲んで、むし歯が無いように、よぼうをしたりです。

 名前 _____

お茶はかせになろう 授業の感想を書いてください。


今日、家庭科の授業をして、いつもはふつうにのんでいる緑茶がとてもちがうイメージになりました。虫歯や食中毒を予防する力があるなんて知らなかったの、おどろきました。

「少しがう気持ちで」のおと、味も変わりました。家に帰って、今日教わったことをいかしてみたいです。

 名前 _____


お茶はかせになろう 授業の感想を書いてください。

今日、お茶を作って学んだ事は、入れ方によって味が変わる事と、4つの栄養がある事です。お茶には、「カテキン」「カフェイン」「テアニン」「ビタミンC」が入っている事を知りました。おどろいた事は、お茶にビタミンCが入っている事と、おすしにお茶が入っているのは、ただ合うだけではなく、食中毒をふせぐ事です。家でお茶を作りたくくなりました。

 名前 _____

お茶はかせになろう 授業の感想を書いてください。

おすしにお茶を混ぜるのは、おふだからだとおぼろげに、中毒をふせぐためだと初めて知りました。そして、お茶には多くのえいようがあることも、初めて知りました。たとえば、カテキンには、ねむけを覚ましたり、体をスッキリさせることです。今日のじょうぎょうは、とても勉強になりました。

 名前 _____


【授業後の感想】

成果

- お湯の温度を変えてお茶を淹れ、飲み比べをしたので、おいしいお茶の淹れ方を体験を通して学ぶことができた。
- お茶を使った料理を提示したことで、子どもたちの興味・関心が広がった。
- 授業後、家で家族にお茶を淹れた子や、お茶に含まれる栄養について家族に話した子どもいた。学んだことを家庭生活につなげることができた。

留意点

- 今回の授業は、栄養教諭とTTで行った。栄養についての話やお茶を淹れる実践の場を栄養教諭に担当してもらったことは、非常に効果的であった。

教材名（活動名） お茶を食 ^{ちや} べ茶おう！	学 校 名	小山町立須走小学校
	学年・人数	4・5・6年 24人
	教 科 等	家庭科クラブ
実施時期 平成27年5月中旬（5月12日）	授 業 場 所	家庭科室
	連 携 機 関	なし
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・緑茶の栄養と病気予防について知り、お茶への関心を高める。 ・せん茶の栄養を丸ごと摂取できるよう、粉末にしてご飯と混ぜておいしくいただく。 		
学習（活動）内容		
<p>1 お茶について知ろう。</p> <p>(1) 知っていることはなんだろう。</p> <p>ア 茶の生産で静岡県が日本一。（資料 新編 小学校社会科地図帳 82.83 頁）</p> <p>イ ビタミンが多い。（資料 食品成分表）</p> <p>ウ 病気予防になる。（資料 山陰中央新報社 台所でできるがん予防）</p> <p>(2) 緑茶をいただく。</p> <p>ア 緑茶を飲もう。</p> <p>イ <u>お茶を食^{ちや}べ茶おう！</u></p>		
<p>2 栄養摂取について考えよう。</p> <p>ア 茶葉（茶殻）を捨てる・茶葉ごといただく。</p> <p>イ これからの食生活に生かせそうなことを話し合おう。</p>		
<p>3 授業を振り返ろう。</p>		
成果		
<ul style="list-style-type: none"> ・いつもジュースを好んで飲んでいた子が、「病気にかからないように<u>ジュースだけではなくお茶も飲む。</u>」という考えを持てるようになった。 ・「<u>お茶のことがもっと好きになりました。</u>」と、興味関心の高まりを感じられた。 ・「<u>あたたかいお茶はおいしい。これからはたくさんあついお茶を飲もうと思う。</u>」と、<u>ペットボトルのお茶ではなく、家でお茶を入れよう</u>という思いが生まれた。 ・「<u>おいしかった。家でもお母さんに作ってもらいたい。</u>」と家庭でも実践するきっかけが生まれた。 ・<u>粉茶をご飯に混ぜるだけでなく、「とんかつとか、揚げ物に使いそう」と、揚げ物用の衣に加える意見が出た。</u> 		
留意点		
<ul style="list-style-type: none"> ・試飲、試食の準備→炊き立てのご飯を用意し、粉にした茶を子どもたちの目の前で混ぜると、茶の香りが引き立つ上、色も鮮やかで食欲をそそる。 ・茶ご飯をラップに乗せて配ると、子どもたちが自由におにぎりの形を工夫できる上、片付けが能率的にできる。 		